

2014年 7月15日

和歌山市長選立候補予定者  
様

和歌山市山口地区連合自治会  
会長 國部尚正

### 山口地区の産業廃棄物処分場問題に関する立候補予定者への公開質問状

この度は、市民がより安心して安全に暮らせる和歌山市政を目指し、市長候補者として、ご審判のこととご推察致します。

産業廃棄物処分場計画を考える山口連合自治会は、和歌山市山口地区山林内の産業廃棄物安定型最終処分場（面積約10.8ha・埋立量230万㎡）計画について、行政と事業者間での事前協議も開始され、3月上旬、事業者が生活環境影響調査計画書及び同計画に伴う事業計画等を行政に提出し、5人の専門の先生方が精査中であることを、担当部署において確認をしています。

仮返れば、2012年2月5日、事業者から山口地区での住民説明会が実施されましたが、その説明内容は住民の理解を得るという趣旨に反し、根拠のない説明を繰り返すばかりでした。

そのため、住民の不安を払拭するには確実な結果となり、近隣住民は、さらに一層の不安と不信感を抱き、住民のスローガン「緑豊かな環境と命の水を守り、子々孫々に残す」を合言葉に反対運動を展開して、反対署名総数14万4869筆を市長に提出しています。

以上のことは、和歌山市民や近隣住民の多くの方々が、同産業計画に対して強い反対の意向で、市長候補各位の方針について重大な関心を寄せています。

事業者による住民説明会後を契機に、産業に関する住民勉強会や県外処分場の視察等を実施し、健康被害や生活環境影響など理解を深めてまいりました。この場所での産業廃棄物最終処分場の計画は、あまりにも影響が大きく決して許されるものではありません。

市長候補各位におかれましては、このような住民の声をご理解いただき、別紙の質問状について、ご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

憂慮すべき問題点は、以下のとおりです。

- 1 計画地が標高280m以上の山地で和歌山市民の水道水源地に位置する。
- 2 埋立地周辺の地質等が砂岩・泥岩互層で、地すべり指定区域（防災科学技術研究所）で、脆弱な地形による山地災害危険地区（わかやま土砂災害マップ）に指定されている。
- 3 汚染水が流出すれば上水道・米・野菜等の摂取による健康被害のおそれがある。
- 4 埋立地が根来新層上で、地殻変動による埋立廃棄物・汚染水流出のおそれがある。
- 5 大規模開発（10ha以上の樹木伐採）による洪水災害の頻発のおそれがある。

## 別紙（公開質問状）

質問1 この産業処分場計画について（賛成・反対）です。  
その理由について、ご見解をお聞かせください。

質問2 質問1で賛成に○を付した方は、憂慮すべき5項目の問題点に対する対策手段  
について、ご見解をお聞かせください。

質問3 質問1で、反対に○を付した方は、事業者に対する今後の取組み方法と今後の  
環境施策（産業処分場）について、ご見解をお聞かせください。

上記質問書に対する候補者各位からの回答書は、以下のように取り扱わせていただきます。

1 回答期限と方法

平成26年7月25日（金）午後5時までとし、文書で以下までご送付ください。

〒649-6811 和歌山市里146-2 山口支所

和歌山市山口連合自治会 会長 國部尚正

2 内容公表について

ご送付いただいた文書は、先着順にそのまま印刷し、山口地区全世帯、近隣地区世帯に  
配布いたします。また、報道関係各社にも公表し、ホームページ等でも公開いたします。

回答がご送付されない場合は、その旨を公表します。

以上、ご多忙の折り誠に恐縮ですが、よろしくご回答をお願いいたします。